

(関係者各位)

2021年6月15日
株式会社シノプス
代表取締役 南谷 洋志

コープさっぽろ sinops 導入の正式契約が決定

～自動発注で DX をさらに加速～

生活協同組合コープさっぽろ（本社：北海道札幌市、理事長：大見 英明、以下「コープさっぽろ」）で、株式会社シノプス（本社：大阪府大阪市、代表取締役：南谷 洋志、以下「当社」）の提供する自動発注システム「sinops」を CLOUD 型で導入する正式契約を結ぶことが決定しました。

コープさっぽろは、文章を中心にコンテンツ配信するソーシャルメディア「note」で「コープさっぽろ DX」と題された自社発信のページを公開しているほど「もっと使いやすく！買い物しやすく！職員が働きやすく！なるため」の DX に、全社で取り組んでいます。

小売業における DX の 1 つに、店舗オペレーション改善が挙げられます。当社の sinops も、この一環である自動発注システムとして導入が決まりました。2020 年 1 月から 3 店舗をモデル店舗に、デイリー（日配）、一般食品、日用品、雑貨などのカテゴリで検証のプロジェクトを開始。最終的には誰でも同じオペレーションで発注作業ができる、担当者が 1 人でも作業可能な状態を作ることを目指しています。

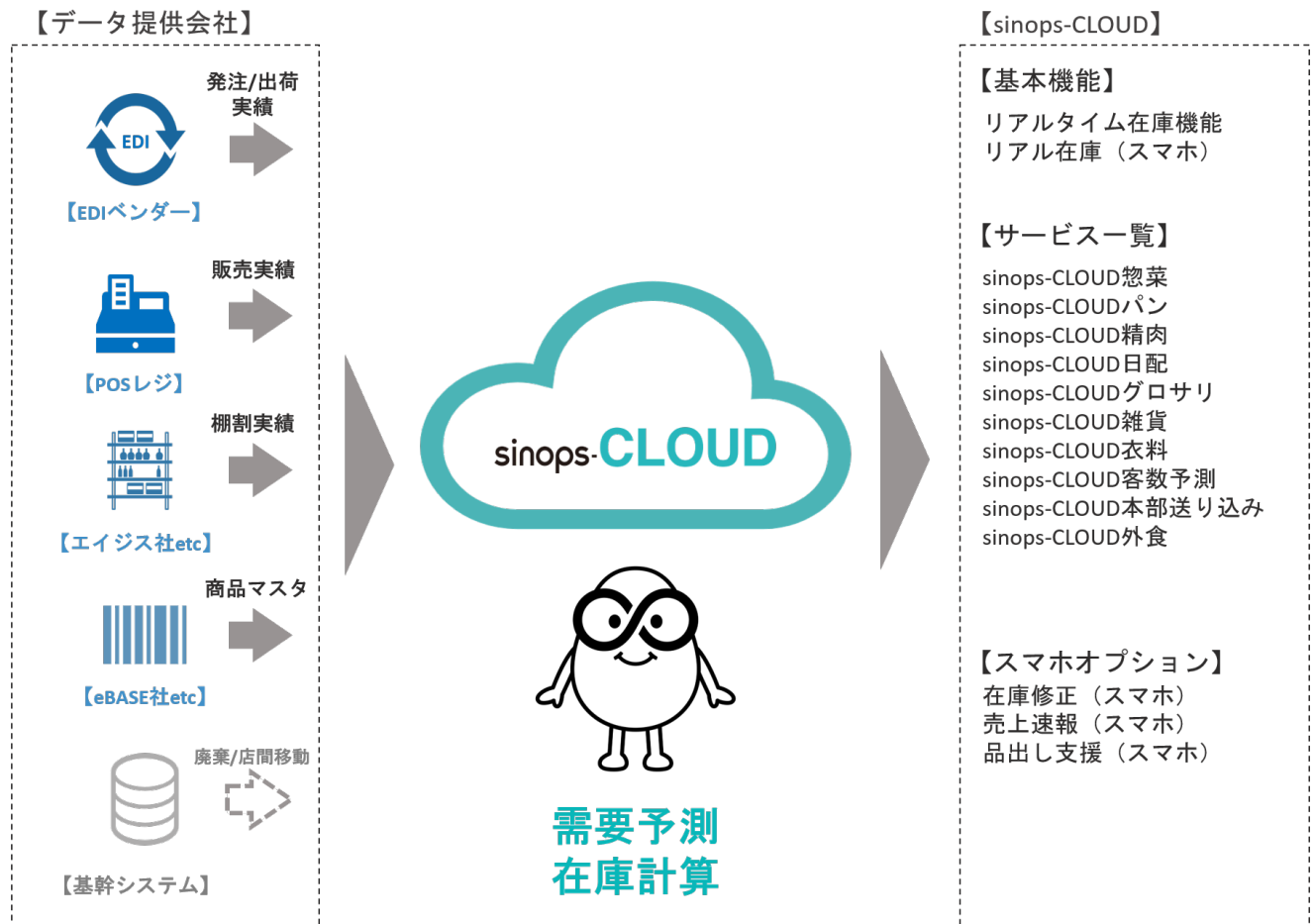
北海道のほぼ全域で 176 万人の組合員さんに支えられているコープさっぽろは、ここで働いていること自体が従業員にとって 1 つのほこりになっています。そのため、発注作業の 1 つ 1 つにもそれぞれの従業員のこだわりがあり、当初はシステムによる自動発注のオペレーションはなかなか上手くいきませんでした。

しかし、導入目的でもある「誰でも同じオペレーションで発注作業ができる」ということを本気で目指すためには、できるだけ sinops の需要予測に人の手を加えないことが重要です。そこでコープさっぽろでは、まず発注を思い切って sinops に任せ、余った時間をシステムではなく人にしかできない業務を行うという体制を徹底しました。note ページ「コープさっぽろ DX」でも「超アナログ！からのコープさっぽろジャンプアップ変遷期」と称されているような店舗を巻き込んだ検証が成功し、その結果、発注時間を削減した上で、欠品率やロス率に関しても改善することができました。

また、当初はパッケージ製品である「sinops-R6」を導入予定でしたが、昨今の環境変化も見据えてクラウド型で全店導入することが決定しました。「レガシーな北海道の流通のデジタル改革」の一環として、sinops もコープさっぽろの DX の一部を担っていくこととなります。

■sinops-CLOUD について

「sinops-CLOUD」は、流通業向けの様々な AI サービスを1カテゴリ・1機能・1店舗から利用でき、必要な機能を必要なときに低価格で利用できる完全クラウドサービスです。



■sinops-CLOUD サービス一覧

○基本サービス

機能・オプション名	概要
リアルタイム在庫機能	1時間ごとの在庫情報をWEBで見える機能
リアル在庫オプション(スマホ)	1時間ごとの在庫情報をスマホで見えるアプリ

○各種サービス

サービス名	概要
sinops-CLOUD 惣菜	惣菜に特化した需要予測・自動発注サービス
sinops-CLOUD パン	パンに特化した需要予測・自動発注サービス
sinops-CLOUD 精肉	精肉に特化した需要予測・自動発注サービス
sinops-CLOUD 日配	日配食品に特化した需要予測・自動発注サービス
sinops-CLOUD グロサリー	グロサリーに特化した需要予測・自動発注サービス
sinops-CLOUD 雑貨	雑貨に特化した需要予測・自動発注サービス
sinops-CLOUD 衣料	衣料に特化した需要予測・自動発注サービス
sinops-CLOUD 客数予測	天候・イベント等を加味し、時間帯別の客数を予測するサービス
sinops-CLOUD 本部送り込み	店舗ごとの需要に応じて、企画商品の配荷数を予測するサービス
sinops-CLOUD 外食	外食業向けに特化した需要予測・自動発注サービス

○スマートフォンオプション

オプション名	概要
在庫修正オプション(スマホ)	スマホで在庫数の修正ができるようにするオプション
売上速報オプション(スマホ)	スマホで1時間ごとの売上情報を確認できるオプション
品出し支援オプション(スマホ)	スマホで売場欠品商品の登録ができるオプション

■生活協同組合コープさっぽろについて

生活協同組合コープさっぽろは、1965年の創立当時に横行していた市価よりも高い「北海道価格」の是正を目指し活動を始めました。生協は組合員と共に食を中心としたくらしの問題を解決して安全・安心を守る組織であり、その成り立ちそのものが革新的だったといえます。近年は食一つをとっても偽装、異物混入、廃棄品の流通など、さまざまな問題が取り巻くなか、人と人とのつながりこそ地域が抱える課題解決のキーとして、組合員が経営プロセスに参画し、取引先や生協職員らと連携して事業をすすめています。創立50周年で「つなぐ」を新たな経営の主テーマに設定し生産年齢人口の減少など北海道が抱える課題に対して、過去の常識にとらわれず革新的な事業を展開しています。

■株式会社シノプスについて

株式会社シノプスは、「世界中の無駄を10%削減する」をビジョンに掲げ、「われわれは在庫に関わる“人”、“もの”、“金”、“時間”、“情報”を最適化するITソリューションを提供し、限りある資源を有効活用することで、広く社会に貢献する。」という基本理念のもと、流通業向け自動発注・在庫最適化ソリューション『sinops(シノプス)』を開発・販売しているソフトウェアメーカー。

東証マザーズ上場(証券コード:4428)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社シノプス 管理部 経営企画室

Email: ir@sinops.jp

お問い合わせフォーム: <https://www.sinops.jp/contacts>